

図画工作科 2年

題材名：いろの 見えかた むげん大

本時のねらい	透明色紙を使って様々な色や形を見付けることについて、並べたり重ねてずらしたり、色の組み合わせを考えたりすることを通して、そこから生まれる様々な色や形に気付くことができるようにする。
評価規準	透明色紙を使って様々な色や形を見付けることについて、そこから生まれる様々な色や形に気付くことができる。
具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ色をずらして重ねてみると、色が薄いところや濃いところがあったよ。</li> <li>・ずらして重ねると、長四角や三角ができるね。</li> <li>・重ねる枚数や色が違うと、見える色もちがってきたよ。</li> </ul>

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ①評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
8分	1. 本時のめあてを確認する。	<p>〇色紙を見せ、その後、透明色紙と出合わせる。どうやったら透明色紙と仲良くなれるかという視点で話をする。</p> <p>〇透明色紙を重ねる場面を見せて、色や形に着目して考えを発表し、やってみたいという思いをもつようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透明色紙の色は全部で8色、大きさは3種類あることを確認する。</li> </ul> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透明色紙が重なった部分の色が変わった。</li> <li>・長四角が見えるね。透明色紙を重ねると数も増えたよ。</li> </ul>	
めあて どう明色がみをつかって、いろいろな色やかたちを見つけよう			
8分	2. 透明色紙を並べたり重ねたりしながら、色や形を見付ける。	<p>〇透明色紙を並べたり重ねたりしながら、色や形を見付ける活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が使いたい透明色紙を5枚選び、並べたり重ねてずらしたりする。</li> <li>・1人1枚ゴッホ紙を用意し、色や形がはっきり見えるようにする。</li> <li>・形や色に目を向けている子どもの作品を写真に撮る。</li> </ul> <p>※活動に取り組めない児童に対しては、積極的に友だちの様子を見るように声をかける。</p>	iPad
6分	3. 友だちがどのような色や形を見付けていたのかを全体で交流する。また、活動中の困りや、もっとこうしたいなどの願いを聞く。	<p>〇形や色について目が向いている並べ方や重ね方をしている子どもの作品を、全体で紹介する。その際、どんな色や形をよいと感じるか問いかけ、それぞれの見方や感じ方の違いに気付くようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透明色紙を3枚増やすことを伝える。</li> </ul>	



12分	4. 透明色紙を並べたり重ねたりしながら、様々な色や形を見付ける。	<p>○自分がいいなと感じる色や形を見付けたら、iPad で写真を撮り記録するように声を掛ける。</p> <p>◎透明色紙を使って、楽しい見え方を見付けるときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形に気付いている。</p>	iPad
3分	5. 自分が作った作品の中で最も気に入ったものを、ロイロノートに提出して、友だちの作品を鑑賞する。	<p>○自分が撮った写真の中で、最も気に入ったものをロイロノートに提出する。その際、作品に名前をつけて提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなところが良かったのか、気に入ったのかを考えて選んだ後、作品に名前を付けてロイロノートに提出するよう声を掛ける。</li> </ul> <p>○回答共有を行い、友だちの作品を鑑賞する。</p>	iPad
8分	6. 本時の振り返りを行う。	<p>○形や色について気付いたこと、感じたこと等についてワークシートに書いて振り返る。また、友だちの作品を見て、気付いたことがあればそのことも振り返りに書くよう声を掛ける。</p> <p>○全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がった作品をどこに飾ればきれいに見えるか考えさせる。2年生前の廊下のガラスに飾れば光が入ること、たくさんの人に作品を見てもらえることを確認する。</li> <li>・次時は、本時でしたことを基にして、グループで色や形の研究をすることを伝える。</li> </ul>	ワークシート



単元終了後の飾り付けの様子

1人1台端末の使用は効果的であったか

- 導入段階で書画カメラを使用し、透明色紙が重なる様子をライブで見せることによって、児童の色への興味、色を重ねることへの感心が高まり、かつ、本時のめあてと流れを同時につかむことにつながった。
- 自分が撮った写真の中で、一番気に入った作品に題名を付けてロイロノートに提出することで、自分の作品が言語化され、意識が変わるきっかけになった。